

地元で農業を継ぐとこむんと



伊王野（上町）にお住まいの内藤幸弘さん・弘明さん親子は水稲農家で、10ヘクタール以上の作付面積を2人で耕作しています。

弘明さんが農業の手伝いを始めたのは小学生の頃から。幸弘さんが働く姿を見ながら、農作業には幼いころからごく自然に携わっていたそうです。

新たに創設された支援制度をきっかけに本格的に就農することを決意。今回、農業後継者就農交付金と、更なる生産性の向上を目指して土地利用型農業後継者機械導入事業費補助金の2種類の申請をしました。

弘明さんにこれからの農業経営について聞いたところ、「いろいろなことに挑戦するのではなく、まずはコシヒカリの生産に集中したい」とのこと。繁忙期には弘明さんの友人も農作業を手伝ってくれるそう、幸弘さんも「田植えの時は5〜6人来てくれて助かった」と話していました。

地元の消防団や公民館等の地域活動にも積極的に取り組んでいる弘明さん。仕事の他にも地域に楽しめる活動があるからこそ、農業を継ぐことを決意できたそうです。

農業後継者としてだけでなく、今後は地域のリーダーとしても活躍が期待されます。



父 内藤幸弘さん(48)



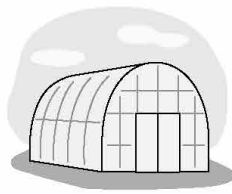
長男 内藤弘明さん(25)

園芸農家も応援します 園芸作物推進支援事業

農業後継者への支援策のほかに、水稲から園芸作物への作付転換や園芸作物の作付拡大を図るため、園芸作物生産用のパイプハウス設置を対象とした補助制度を新規事業として創設しました。

▼対象者 アスパラ、うど、花きなどの生産に必要な60㎡（約18坪）以上のパイプハウスを設置する園芸農家

▼交付金額 パイプハウス設置費用の1/3（上限50万円）



「那須町地域農業後継者支援事業」は併用申請が可能で、3つのパッケージによる親元就農支援は、県内初の取組みとなります。同時に「園芸作物推進支援事業」も申請することができます。

記載の他にも要件等がありますので、申請を検討する方は、農林振興課にご相談ください。

▼問合せ 農林振興課農政係

☎ 6911



那須町農業公社（黒田原駅北側）

認定農業者を目指す方へ お手伝いします

4月に開所した那須町農業公社では、認定農業者育成・支援事業として、認定農業者になるためのお手伝いや、経営支援、認定農業者同士のコミュニティを運営しています。

この他にも、農地の貸し借りのお手伝い、各種研修会の開催や農業情報の収集、書類作成の援助等を行い、安定した農業経営の支援をしています。農業に関することはお気軽にご相談ください。

▼問合せ 那須町農業公社

☎ 5545